

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

< 8週 > 麻疹( 成人麻疹を除く ) - 定点当たり報告数は増加し始め、報告のほぼ半数は2歳未満の乳幼児である / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

< インフルエンザ >

2002/03シーズンでは2003年第4週にピークがあり、その後第8週まで徐々に減少してきている



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス



速報  
P.6-7

2002年に発生した日本脳炎の3事例について - 広島県



海外感染症情報  
P.8-9

香港特別行政区でのインフルエンザA型( H5N1 )患者発生 - 更新2 / コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行 - 更新5 / ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行 - 更新



感染症の話  
P.10-11

ヘルパンギーナ

発熱と口腔粘膜の水疱性発疹を特徴とする小児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患である



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧( 8週 )  
P.13-19



8週のデータ  
P.20-28



## 発生動向総覧

### 第8週コメント 2月27日集計分

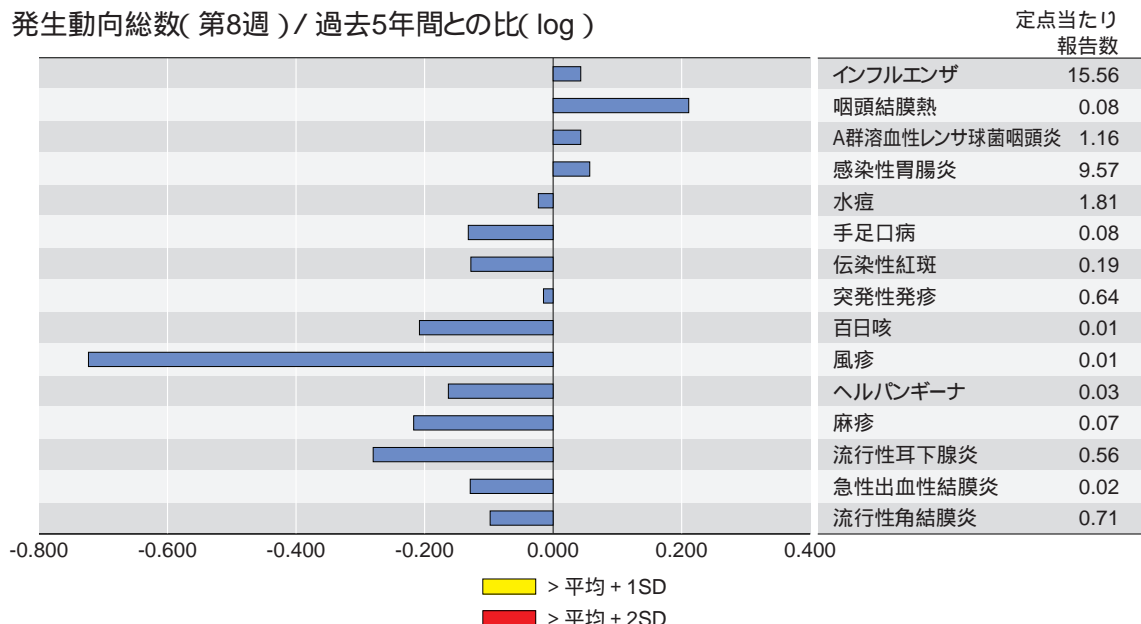
#### 全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: タイ、疑似症) 細菌性赤痢11例(推定感染地: 国内1例、タイ/カンボジア6例[同一ツアー]、インドネシア2例、インド、カンボジア[上記ツアーと同一]各1例、うち1例は疑似症) 腸チフス1例(推定感染地: 国内)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症14例(うち有症者8例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢10例(推定感染地: 国内7例、不明3例) エキノコックス症1例(多包条虫) オウム病1例(インコより) ジアルジア症2例(推定感染地: 国内1例、マレーシア1例) 破傷風1例(外傷、81歳) レジオネラ症2例 急性ウイルス性肝炎14例 A型6例(推定感染地: すべて国内) B型6例(推定感染経路: 異性間性的接触3例、不明3例) C型1例(推定感染経路: 不明) CMV1例 クロイツフェルト・ヤコブ病1例(孤発性) 後天性免疫不全症候群13例(無症候9例、AIDS 4例) 感染経路: 性的接触10例(同性間4例、異性間6例)、輸血1例(推定感染地: ブラジル)、不明2例) 梅毒10例(早期顕症6例、晚期顕症2例、無症候性2例) マラリア1例(三日熱マラリア) 推定感染地: インドネシア)

#### 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べて特別多い疾患はなかった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加に転じた。前者は富山県(4.5) 福井県(4.0)からの報告が多く、後者は18都道府県から2桁の報告があり、熊本県(21.4)を始めとして、大分県(21.1)、宮崎県(18.6)など九州地方からの報告が多い。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は増加し始め、福島県(0.9) 宮崎県(0.8) 徳島県(0.3) 埼玉県(0.2) 千葉県(0.2)で多い。ほぼ半数は2歳未満の乳幼児である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では石川県(0.7) 福井県(0.4) 秋田県(0.3)に多い。水痘の定点当たり報告数はやや増加したが、2週連続して沖縄県(8.9)の増加が続いている。また、佐賀県(3.8)や福岡県(3.3)でも増加し、九州・沖縄地域の定点当たり報告数は3.33で、前週(3.14)よりさらに増加した。風疹は依然として岡山県(0.2)からの報告が約3割を占めている。流行性耳下腺炎も引き続き秋田県(2.1)からの報告が多い。インフルエンザの定点当たり報告数は4週連続でほとんどの都道府県で減少し、全国レベルで15.6とピーク時の半分以下となったが、広島県(3.0) 岐阜県(6.8) 愛知県(7.7) 三重県(9.8)を除く都道府県では依然として2桁の報告がある。

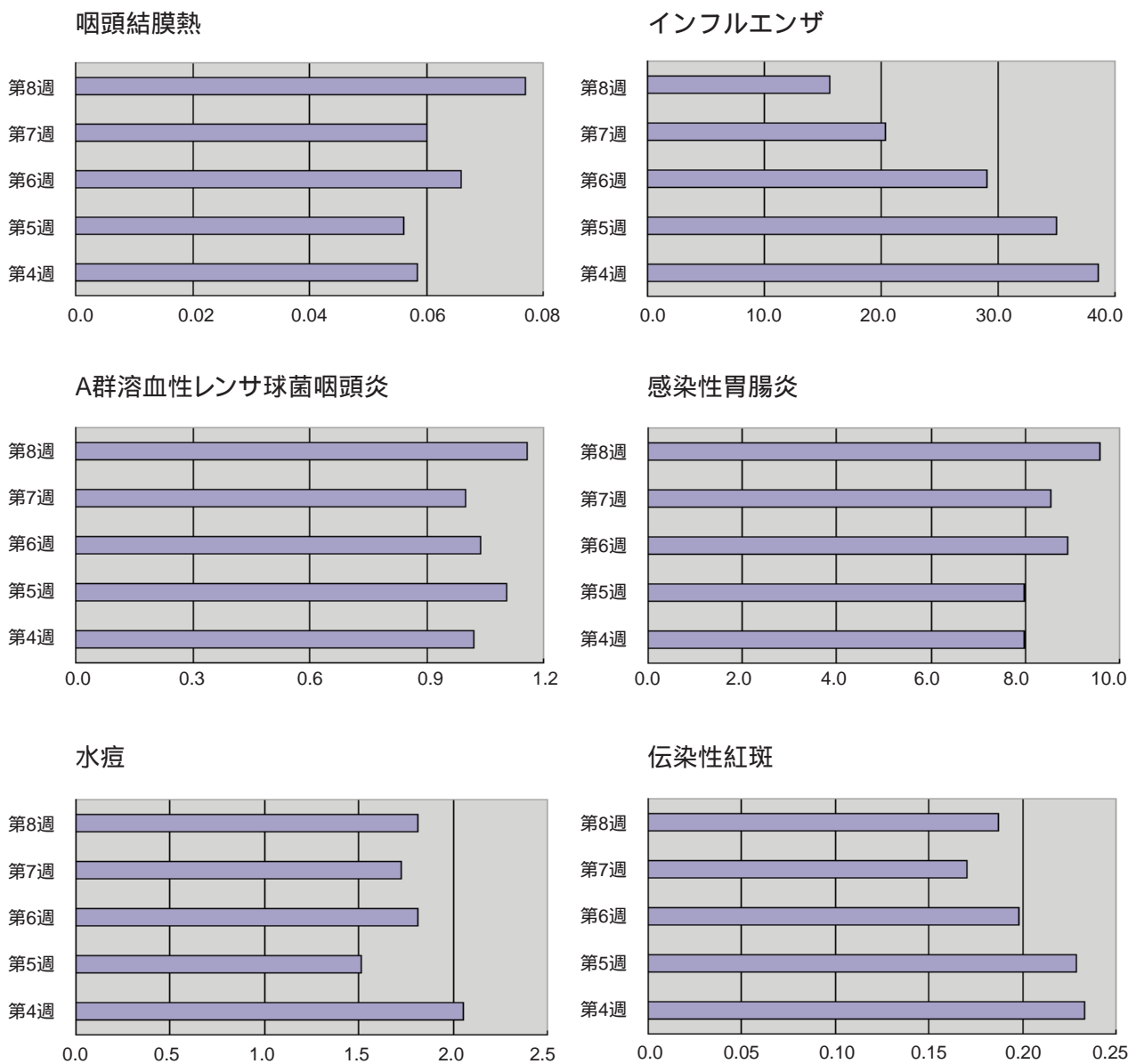
発生動向総数(第8週) / 過去5年間との比 (log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

## 最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べ増加した。インフルエンザの定点当たり報告数は前週に比べて減少した。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

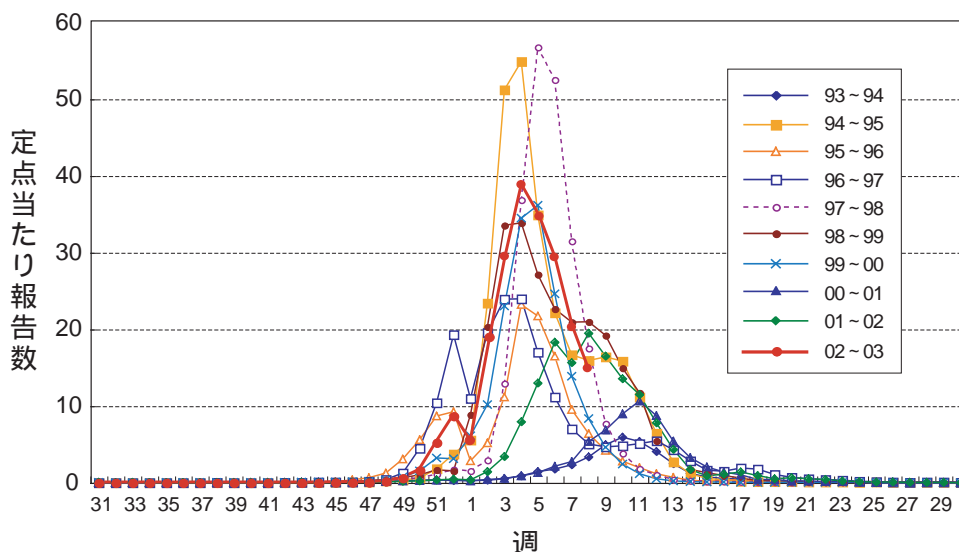
2002/03シーズンの定点当たり報告数は2003年第4週にピークがあり、38.7であった。その後35.2(第5週)、29.2(第6週)、20.4(第7週)と徐々に減少してきたが、第8週では15.6と更に減少した。都道府県別では佐賀県、熊本県、山形県でわずかながら増加したものの、その他の都道府県では全て減少した。

病原体ではA香港型(H3N2)が分離されたウイルスの大半を占めているが、B型も分離報告がある。Aソ連型(H1N1)については、今シーズンの分離報告は未だない。

インフルエンザの総合的な情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>

図. 過去10年間のインフルエンザシーズン毎のトレンドグラフ



## インフルエンザ警報・注意報

第8週においては、全国で注意報基準値を超えている保健所は88カ所、警報基準値を超えている保健所は311カ所であり、注意報、警報ともに減少し、感染症発生動向調査でも、同週1週間の全国レベル定点当たり報告数は15.6となり、順調に減少しつつある。

インフルエンザ警報・注意報の地図情報については、以下のURLを参照されたい。

<http://idsc.nih.go.jp/others/topics/inf-keiho/trend02.html>



# 病原体情報

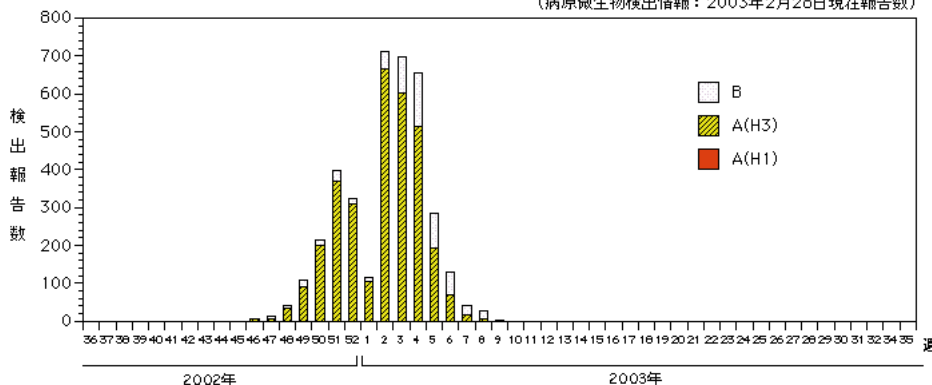
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
(2003年2月28日現在報告分)

## インフルエンザウイルス 2002/2003シーズン

AH3型ウイルスは、これまでに計3,202件(PCRのみの検出20件を含む)報告され、このうちN型別された217件はすべてN2であった。B型ウイルスは2003年第2週より増加し始め、第4～7週までの報告数は順に141、93、59、25、20で、これまでに計570件(PCRのみの検出2件を含む)報告されている。第4週以降、B型ウイルスの占める割合が増加している。AH1型ウイルスの報告はまだない。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年2月28日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

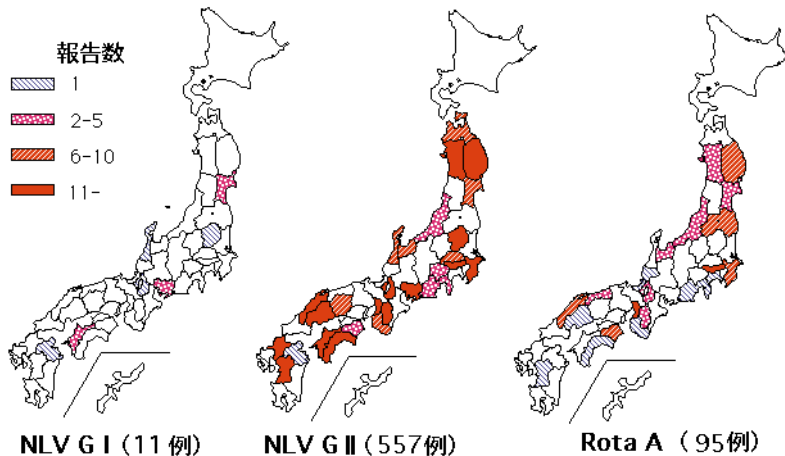


## 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2002/2003シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)の検出報告は計781件で、全体の約7割は0～4歳の乳幼児からの検出である。内訳はノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが27都府県の31地方衛生研究所(地研)から557件(愛媛県98、岩手県63、滋賀県41など)と大部分を占め、その他NLV genogroup Iが11件(愛媛県3、宮城県2、愛知県2など)、NLV genogroup不明が196件(山形県142など)、サッポロ様ウイルス(SLV)が5件(島根県3など)、電顕による検出が12件(栃木県4など)である。ロタウイルスは、これまで21都府県の22地研からA群が95件(東京都13、大阪市11など)、C群が2件(岩手県2)、群不明(電顕による検出)が7件(愛媛県7)報告されている。

都道府県別SRSV・ロタウイルス検出報告状況、2002/2003シーズン

(病原微生物検出情報: 2003年2月28日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。







## 2002年に発生した日本脳炎の3事例について - 広島県

広島県では2002年に3名の日本脳炎(JE)患者が発生した。広島県における過去のJE患者の発生状況は、1960年代までは毎年数十名から100名前後の患者が発生していたが、1970年代以降は急激に減少し、1990年を最後に昨年まで患者の発生がなかった。

1例目: 広島市在住の89歳女性で、8月5日に意識障害、四肢の固縮と38 度の発熱・嘔吐があり、受診後そのまま入院し、8月12日に転院した。転院先の医師は臨床症状とMRI上、両側視床(右優位)・中脳・側頭葉内側にわたるT2高信号域を認める点、および8月14日採取血清のJEウイルス(JEV)HI抗体価が160(2ME処理後JEV-HI抗体価は80、民間検査機関へ依頼)であったためJEを疑い、9月6日に精査を依頼した。その後の経過は意識の回復が「はい」「いいえ」程度意思表示ができるくらいで、四肢の麻痺は軽度の改善をみるのみである(2002年12月20日現在)。

検査結果は、JEVに対するIgM捕捉ELISA法で、8月12日採取の脊髄液がIndex P/N値3.2(P/N値1.5未満:陰性、1.5以上2.0未満:再検査または中和試験を実施、2.0以上:陽性)9月6日採取の血清が同2.1で双方とも陽性であった。また、RT-PCR法によるJEV遺伝子検出は陰性であったが、脊髄液からJEVが分離された。分離ウイルスと標準株JaGAr#01とのE蛋白領域2,136～2,458番目の塩基配列は、わずかに1塩基異なるのみであった。

2例目: 高田郡在住の77歳女性で、8月29日に突然に39 度の発熱と嘔吐が出現し、翌30日に受診、入院した。この時はWBC6,100、CRP0.06であった。9月1日より見当識障害が出現し、9月2日より傾眠傾向となった。同日に頭部のCTを行うが著変を認めず、髄液所見では単核球優位に細胞数が増加し(細胞数142/3、単核球110/3、多核球32/3)9月3日にはさらなる意識レベルの低下(JCS III-300)と、MRI(T2/FLAIR)で両側性側頭葉内側部～両側視床に限局性のT2高信号域を認めた。このためウイルス性脳炎と診断するものの、HSVおよびVZVは陰性で、9月13日に検査を依頼した。患者は9月30日に死亡した。

検査結果は、JEV-HI抗体の有意な上昇が認められ(9月2日採取血清がHI抗体価20、9月9日と13日採取血清がともに同2,560)JEV-IgM捕捉ELISA法でも、9月9日と13日採取血清のIndex P/N値はおのおの6.57と7.58で陽性であった(9月2日採取の髄液と血清は、おのおのIndex P/N値0.85と1.65で陰性)。

3例目: 豊田郡在住の60歳男性で、8月23日に発病し、同月26日に入院した。症状は39 度の発熱、意識障害および全身の倦怠感であったが、9月13日には回復し退院した。

民間の検査機関で、8月26日と9月9日採取の血清と髄液について、JEVに対する補体結合反応(以下CF)試験を実施した。その結果、血清(8月26日がCF抗体価16、9月9日が同128)髄液(8月26日が同<1、9月9日が同32)とも有意な抗体上昇が確認された。また、9月9日採取の血清について抗体検査を実施したところ、1,280以上のJEV-HI抗体価を保有し、JEV-IgM捕捉ELISA法でもIndex P/N値3.63で陽性となった。髄液からのJEV遺伝子検出およびウイルス分離は陰性であった。

また、国立感染症研究所・ウイルス第一部で行ったウエストナイルウイルスに対するIgM捕捉ELISA法では、3症例とも陰性であった。

以上の結果から、3症例ともJE患者と診断された。JE流行予測調査では毎年7～8月のブタ血清中に抗JEV-2ME感受性抗体を検出しており、今年度も7月26日採取のブタ血清で同抗体を検出していた。

広島県保健環境センター

桑山 勝 高尾信一 福田伸治 島津幸枝 宮崎佳都夫

国立感染症研究所

倉根一郎 高崎智彦 山田堅一郎 根路銘令子 伊藤美佳子

広島県福祉保健部保健対策室

笠松純也 中村就一 宮脇弘幸

呉市保健所

香川治子 青山範子

国立療養所広島病院

越智一秀

広島県厚生農業協同組合連合会

吉田総合病院 原田和歌子

中国労災病院

時信 弘



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### 香港特別行政区でのインフルエンザA型(H5N1)患者発生 - 更新2

WHO/CSR

2003年2月27日現在、香港では新たなヒトでのインフルエンザA型(H5N1)感染患者は発生していない。現在までのところ、香港でのインフルエンザA型(H5N1)感染流行は2例(うち1例は死亡)に限定されている。2例とも同じ家族であり、中国福建省に旅行後、2月8日に香港に帰郷した。この一家の母親と子供達は中国本土に14日間、父親は9日間滞在した。父親(33歳)は福建省滞在中の2月7日に呼吸器症状を発症した。彼は2月11日香港で肺炎のため入院したが、2月17日に死亡した。インフルエンザA型(H5N1)ウイルスが2月20日剖検時の検体から分離された。9歳になる息子も福建省滞在中に発病した。息子は2月12日に肺炎で香港の病院に入院した。患児から採取された鼻咽頭吸引検体2件から、2月19日にインフルエンザA型(H5N1)ウイルスが分離された。患児の病態は安定している。この一家の別の家族も呼吸器症状を呈した。この患児の8歳になる妹は福建省滞在中の2月4日に死亡した。妹の死因については調査中である。母親はパラインフルエンザと考えられ、すでに回復した。

2002年11月～2003年2月に広東省で異型肺炎流行が発生した。中国の保健当局は流行を調査し、その病因が肺炎クラミジアであると確認した。北京の衛生部はWHOに対し、広東省での流行は終息し、広東省での流行と香港でのH5N1患者との関連を示す証拠はないと報告した。

香港衛生署は、インフルエンザ様症状を呈する患者や異型肺炎患者のサーベイランスを強化した。過去数週間にわたり、異常なインフルエンザ活動性の増加は認められていない。

WHOは北京、香港の保健当局と密接に協力して活動を続けている。インフルエンザA型(H5N1)ウイルス診断のための試薬は、中国衛生部、全国のインフルエンザセンター、WHO世界インフルエンザサーベイランスネットワークの他の加盟国でも使用可能となった。

### コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行 - 更新5

WHO/CSR

2003年2月25日現在、Cuvette Ouest地域のMbomo地区及びKellé地区からエボラ出血熱の確定患者5名、疑い患者90名が報告され、このうち77名が死亡者であった。

世界アウトブレイク監視対応ネットワーク(Global Outbreak Alert and Response Network)から派遣された患者治療の専門家と後方支援の専門家1名が国際チームに合流した。隔離病棟がKelléとMbomoの病院に設置され、患者を受け入れている。

WHO/CSR - 更新6

2003年2月27日現在、Cuvette Ouest地域のMbomo地区及びKellé地区からエボラ出血熱の確定患者5名、疑い患者92名が報告され、このうち80名が死亡者であった。

コンゴ政府はこの地域の村々に食料を送った。保健省、WHO、世界アウトブレイク監視対応ネットワークの国際チームは、現地の医療従事者にこの疾患の患者治療のトレーニングを行い、積極的的患者検索と接触者追跡調査を行い、防護服と必要な医療器具を提供している。また、WHOは現地の指導者達と共に、ラジオと出版物を通じたエボラ出血熱に対する啓発を行っており、また、同国赤十字社のボランティアとともに、村でのエボラへの関心と理解度を上げる活動を行っている。



### ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行 - 更新

WHO/CSR 2003年2月27日

ブルキナファソ保健省は、2003年2月23日現在、髄膜炎菌感染流行による死亡者480名を含む感染患者3,107名を報告した。ブルキナファソの53地域中、Batie, Bogande, Bousse, Manga, Pama, Po, Zabreの7地域は流行閾値を超え、Barsalogo, Boulsa, Dano, Koudougou, Leo, Nanoro, Sapone, Tenkodogo, Zorghoの9地域は警戒段階にある。全国の罹患率は依然増加中である。予備検査の結果では、髄膜炎菌A群とW135群が示唆されている。

危機管理委員会を組織した保健省は、流行征圧手段として、疫学的および検査によるサーベイランス、油性クロラムフェニコールによる患者治療、ワクチンの集団接種を強化している。

ワクチン接種キャンペーンがBatie, MangaとBogandeで行われている。WHOとその協力機関の「髄膜炎征圧のためのワクチン提供の国際調整グループ ( ICG ) により、3価ワクチンが提供されている。3価ワクチンの世界の在庫は200万人分しかなく、全国にワクチン接種キャンペーンを拡大する場合、ワクチンの追加生産のために資金が必要になるだろう。



## 感染症の話

### ヘルパンギーナ( Herpangina )

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とし、夏期に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎であり、いわゆる夏かぜの代表的疾患である。その大多数はエンテロウイルス属、流行性のものは特にA群コクサッキーウイルスの感染によるものである。

#### 疫学

疫学パターンはエンテロウイルス属の特徴に沿う。すなわち熱帯では通年性にみられるが、温帯では夏と秋に流行がみられる。我が国では毎年5月頃より増加し始め、6～7月にかけてピークを形成し、8月に減少、9～10月にかけてほとんど見られなくなる。国内での流行は例年西から東へと推移する。その流行規模はほぼ毎年同様の傾向があるが、1999～2001年の3年間はそのピーク時において、定点当たり報告数が例年に比べて高い状況であった。患者の年齢は4歳以下がほとんどであり、1歳代がもっとも多く、ついで2、3、4、0歳代の順となる。

#### 病原体

エンテロウイルスとは、ピコルナウイルス科に属する多数のRNAウイルスの総称であり、ポリオウイルス、A群コクサッキーウイルス( CA )、B群コクサッキーウイルス( CB )、エコーウイルス、エンテロウイルス( 68～71型 )など多くを含む。

ヘルパンギーナに関してはCAが主な病因であり、2、3、4、5、6、10型などの血清型が分離される。なかでもCA4がもっとも多く、CA10、CA6などが続く。またCB、エコーウイルスなどが関係することもある。

エンテロウイルス属の宿主はヒトだけであり、感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染であり、急性期にもっともウイルスが排泄され感染力が強いが、エンテロウイルス感染としての性格上、回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出される。

#### 臨床症状

2～4日の潜伏期を経過し、突然の発熱に続いて咽頭粘膜の発赤が顕著となり、口腔内、主として軟口蓋から口蓋弓にかけての部位に直径1～2mm、場合により大きいものでは5mmほどの紅暈で囲まれた小水疱が出現する。小水疱はやがて破れ、浅い潰瘍を形成し、疼痛を伴う。発熱については2～4日間程度で解熱し、それにやや遅れて粘膜疹も消失する。発熱時に熱性けいれんを伴うことや、口腔内の疼痛のため不機嫌、拒食、哺乳障害、それによる脱水症などを呈することがあるが、ほとんどは予後良好である。

エンテロウイルス感染は多彩な病状を示す疾患であり、ヘルパンギーナの場合にもまれには無菌性髄膜炎、急性心筋炎などを合併することがある。前者の場合には発熱以外に頭痛、嘔吐などに注意すべきであるが、項部硬直は見られないことも多い。後者に関しては、心不全徴候の出現に十分注意することが必要である。鑑別診断として、単純ヘルペスウイルス1型による歯肉口内炎( 口腔病変は歯齦・舌に顕著 )、手足口病( ヘルパンギーナの場合より口腔内前方に水疱疹が見られ、手や足にも水疱疹がある )、アフタ性口内炎( 発熱を伴わず、口腔内所見は舌および頬部粘膜に多い )などがあげられる。

#### 病原診断

確定診断には、患者の口腔内拭い液、特に水疱内容を含んだ材料、糞便、髄膜炎を合併した例では髄液などを検査材料としてウイルス分離を行うか、あるいはウイルス抗原を検出する。遺伝

子診断(PCR法や制限酵素切断法など)も可能である。確定診断にはウイルスを分離することが原則である。

血清学的診断は、急性期と回復期のペア血清を用い、中和反応(NT)、補体結合反応(CF)などで4倍以上の抗体の有意な上昇を確認することで行われる。しかしながら、エンテロウイルスでのCFは交差反応が多いので、一般には行われない。また、実際には臨床症状による診断で十分なことがほとんどである。

### 治療・予防

通常は対症療法のみであり、発熱や頭痛などに対してはアセトアミノフェンなどを用いることもある。時には脱水に対する治療が必要なこともある。無菌性髄膜炎や心筋炎の合併例では入院治療が必要であるが、後者の場合には特に循環器専門医による治療が望まれる。

特異的な予防法はないが、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することなどである。

### 感染症法における取り扱い

ヘルパンギーナは4類感染症定点把握疾患に定められており、全国約3,000カ所の小児科定点より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの

1. 突然の高熱での発症
2. 口蓋垂付近の水疱疹や潰瘍や発赤

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清診断によって当該疾患と診断されたもの

### 学校保健法における取り扱い

ヘルパンギーナは学校において予防すべき伝染病の中には明確に規定されてはなく、一律に「学校長の判断によって出席停止の扱いをするもの」とはならない。したがって、欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合、流行の大きさ、あるいは合併症の発生などから保護者の間で不安が多い場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校伝染病としての扱いをすることがあり得る病気」と解釈される。

本症では、主症状から回復した後も、ウイルスは長期にわたって便から排泄されることがあるので、急性期のみの登校登園停止による学校・幼稚園・保育園などでの厳密な流行阻止効果は期待ができない。本症の大部分は軽症疾患であり、登校登園については手足口病と同様、流行阻止の目的というよりも患者本人の状態によって判断すべきであると考えられる。

### 【文献】

1. Cherry JD. Herpangina. In Textbook of pediatric infectious diseases, 4th ed. WB Saunders, 1998. pp156-158.
2. Anonymous. ヘルパンギーナ 1995～1996. 病原微生物検出情報月報 第17巻9号、1996.
3. Anonymous. エンテロウイルスサーベイランス 1982～1999. 病原微生物検出情報月報 第21巻10号、2000.

(国立感染症研究所感染症情報センター 谷口清州)



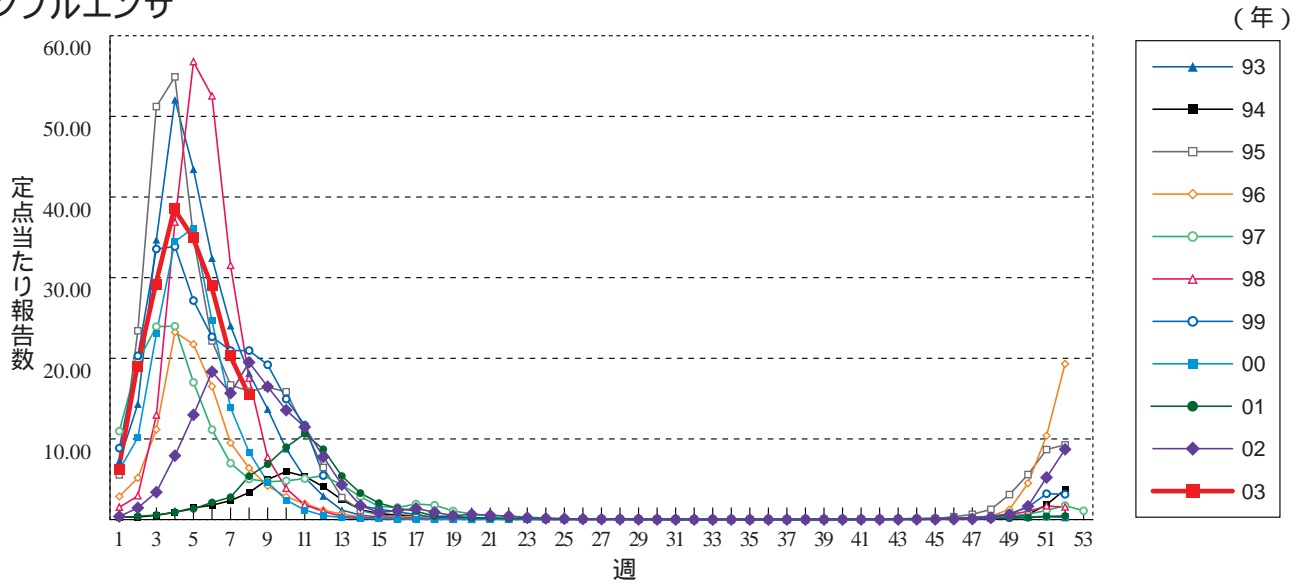
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

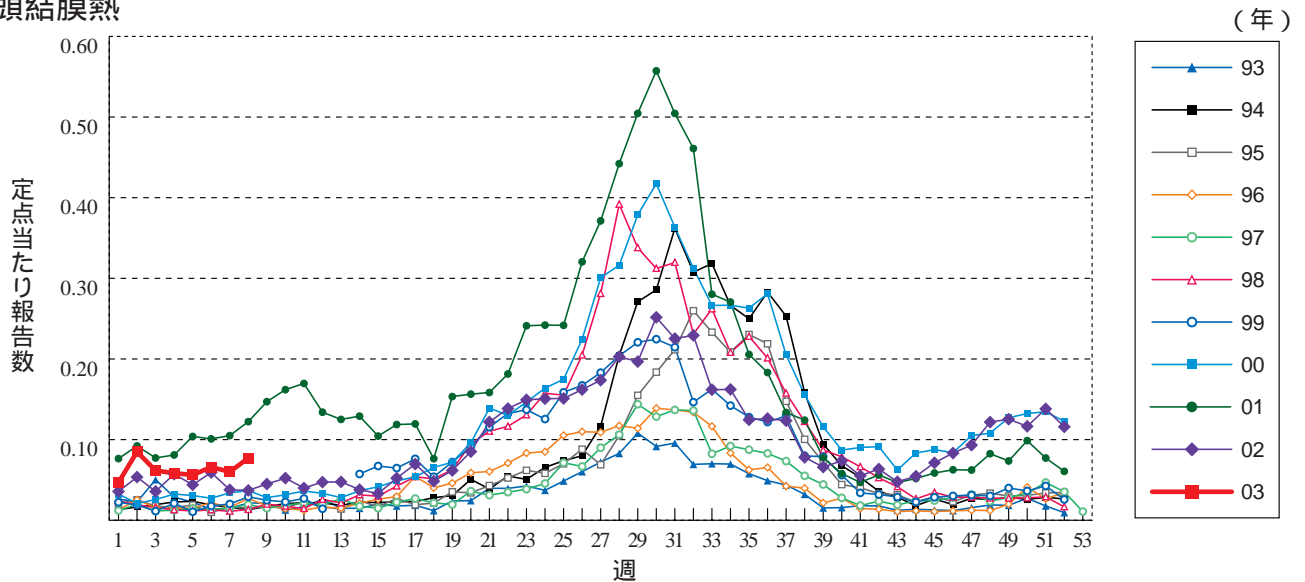
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(8週)**

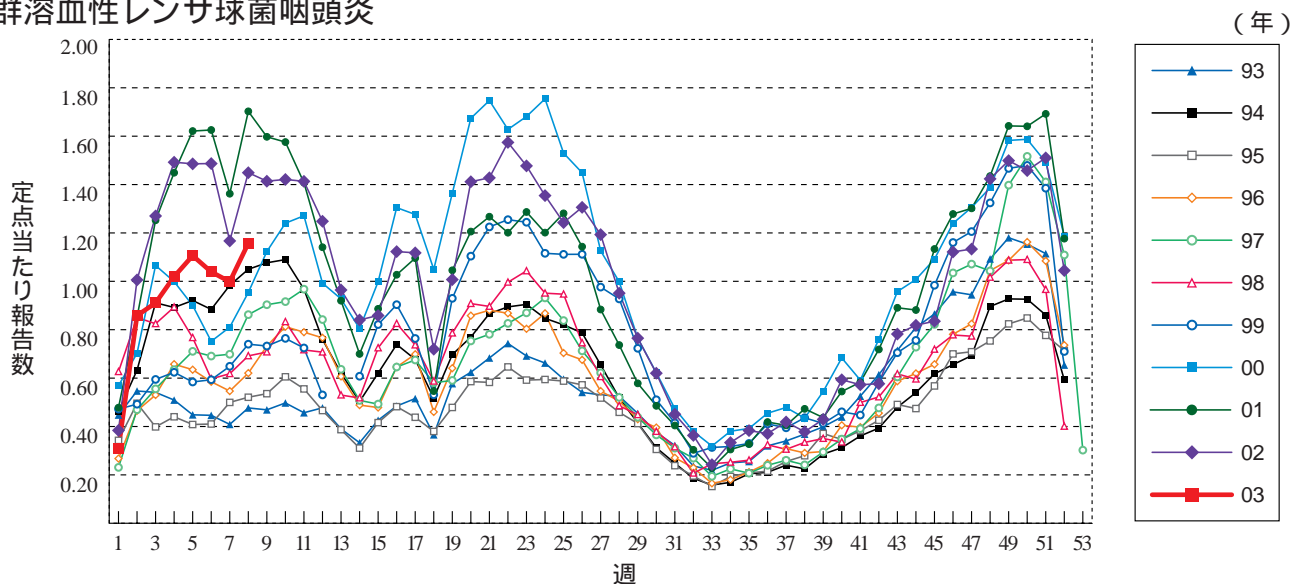
**インフルエンザ**



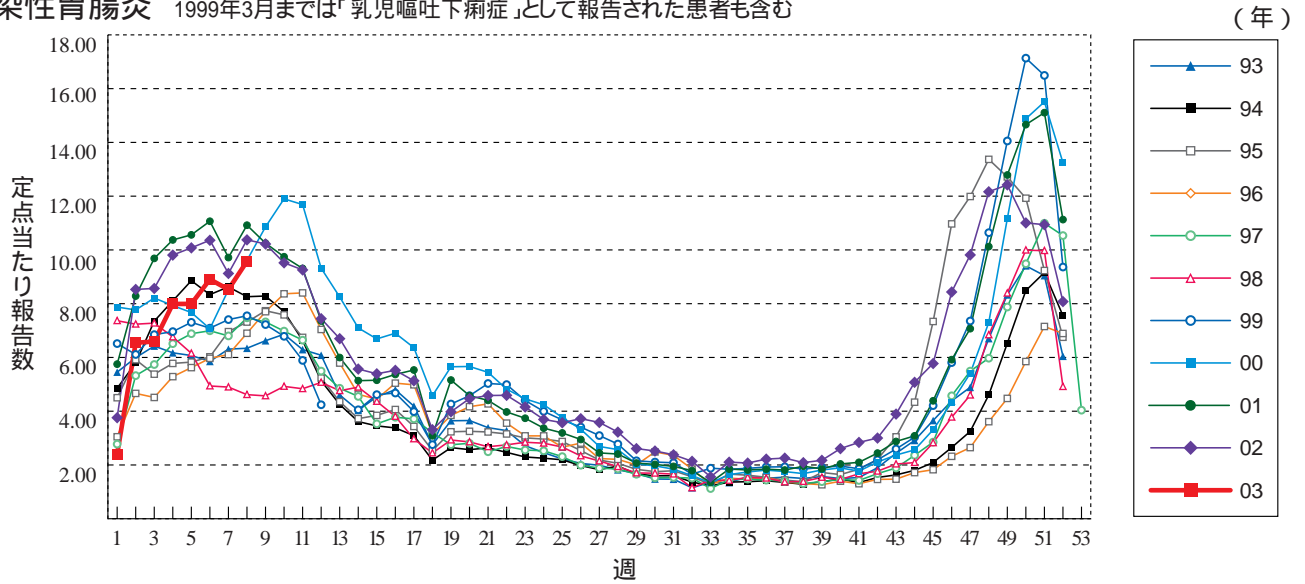
**咽頭結膜熱**



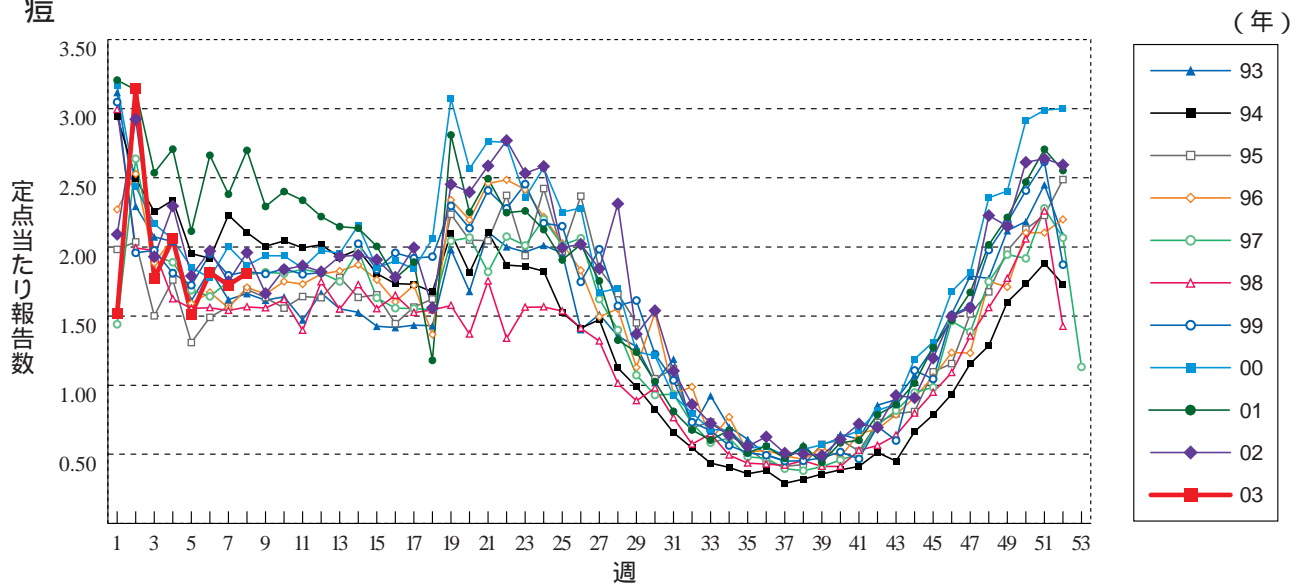
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



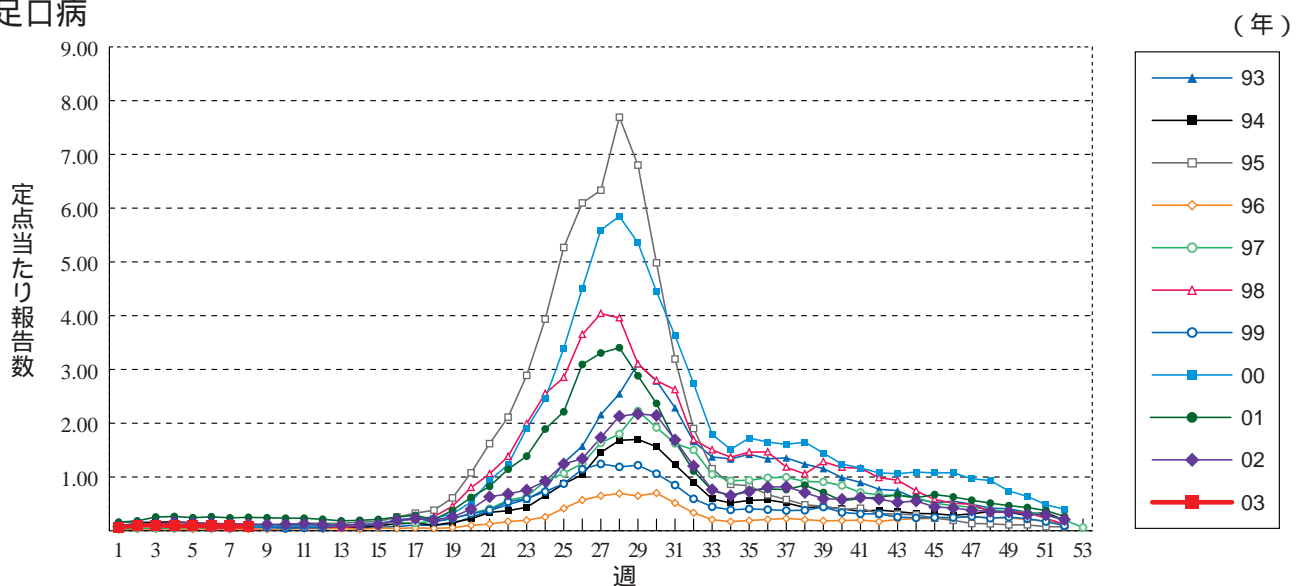
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

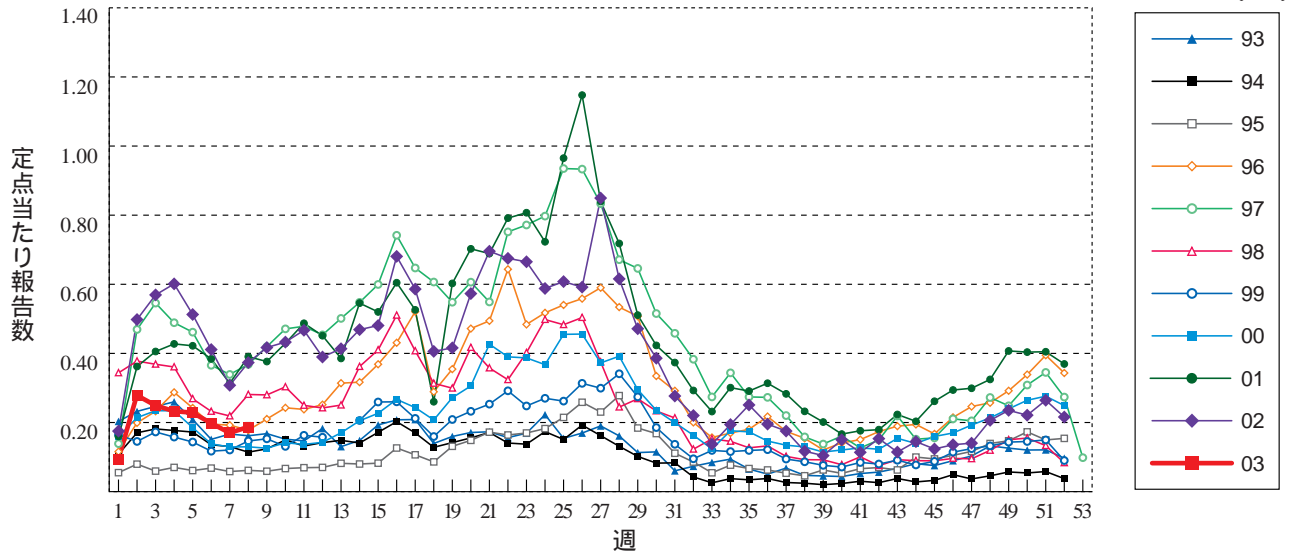


**手足口病**

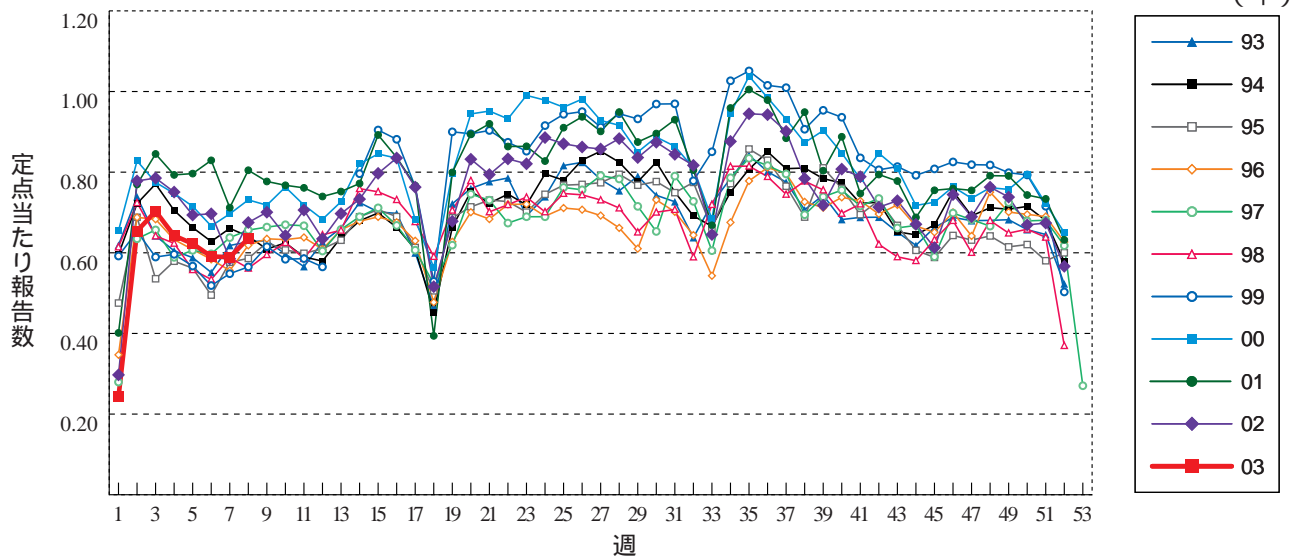




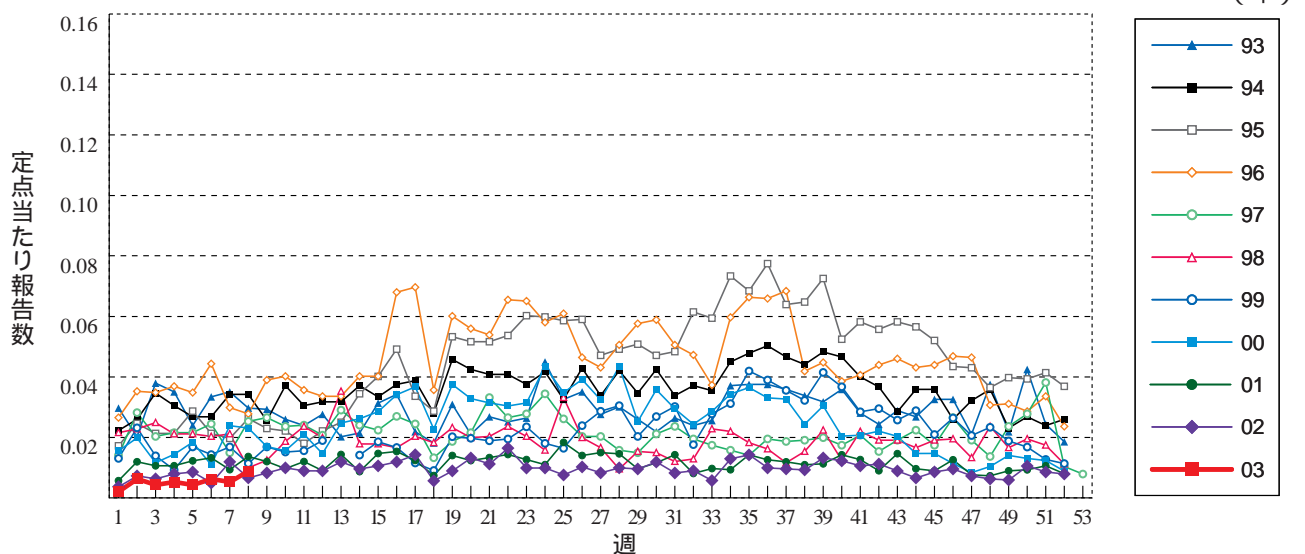
伝染性紅斑



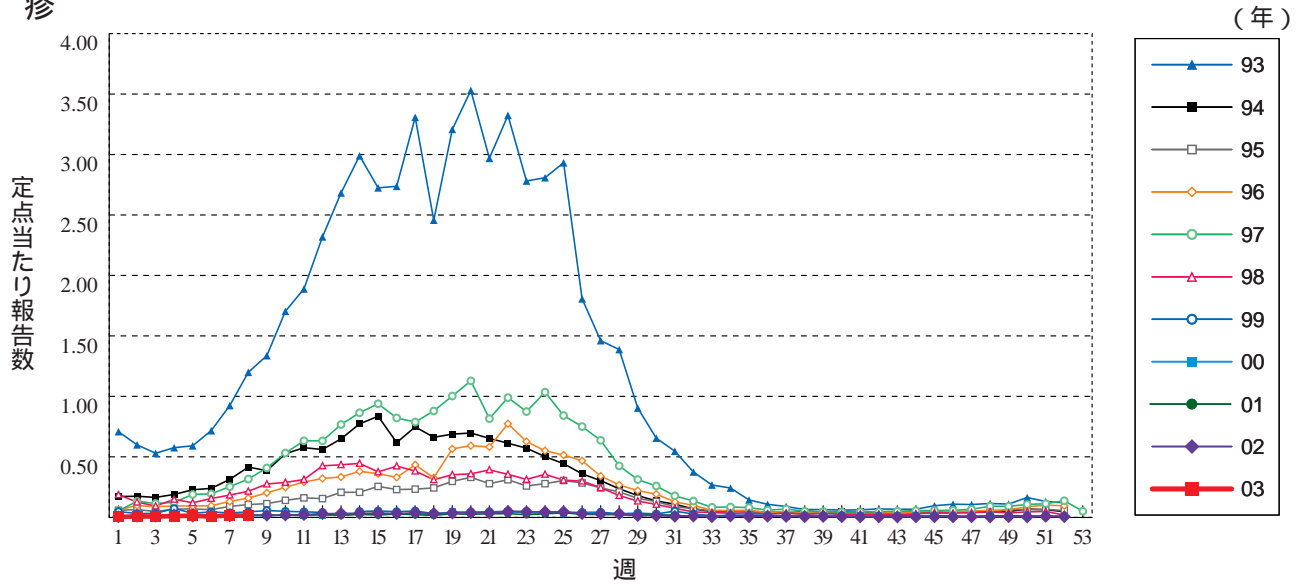
突発性発疹



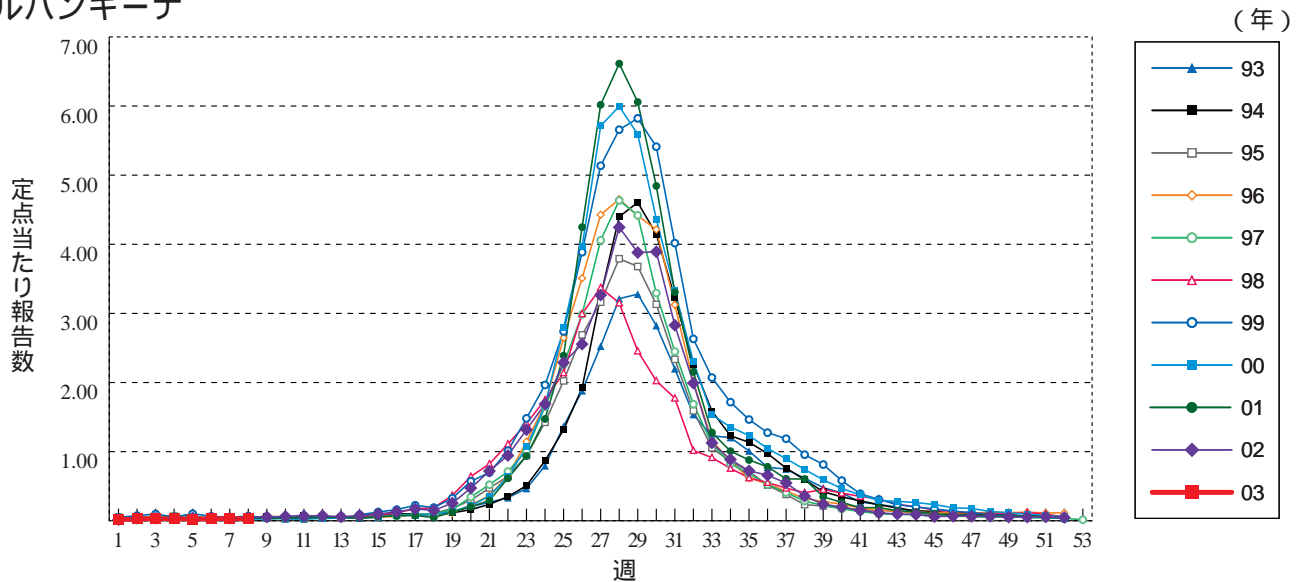
百日咳



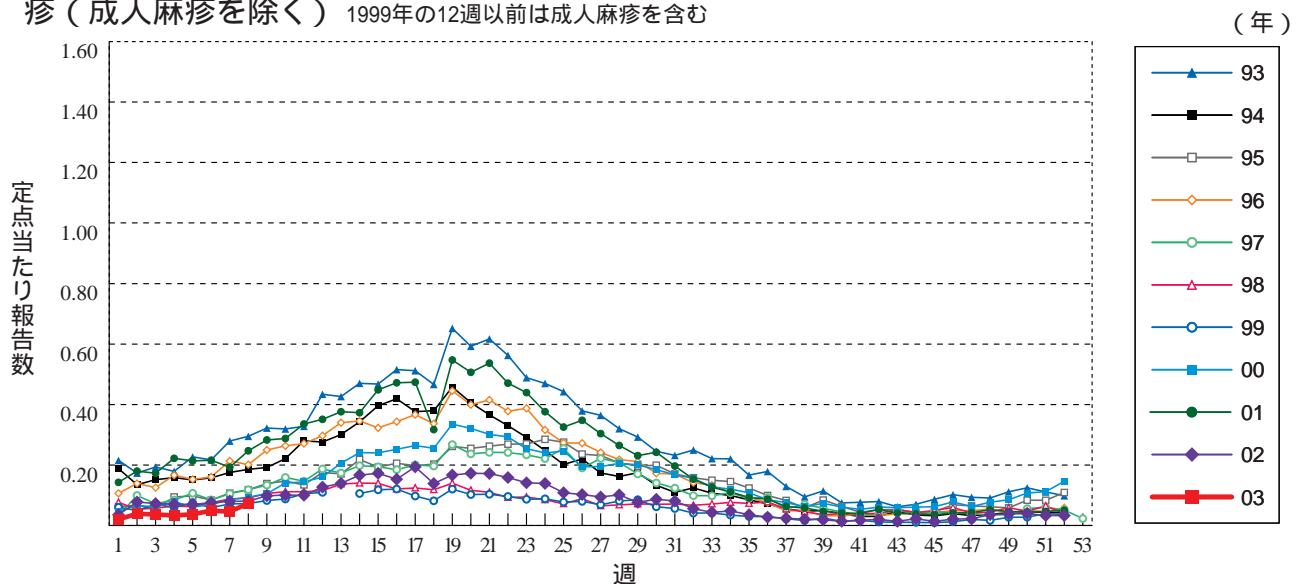
風 疹



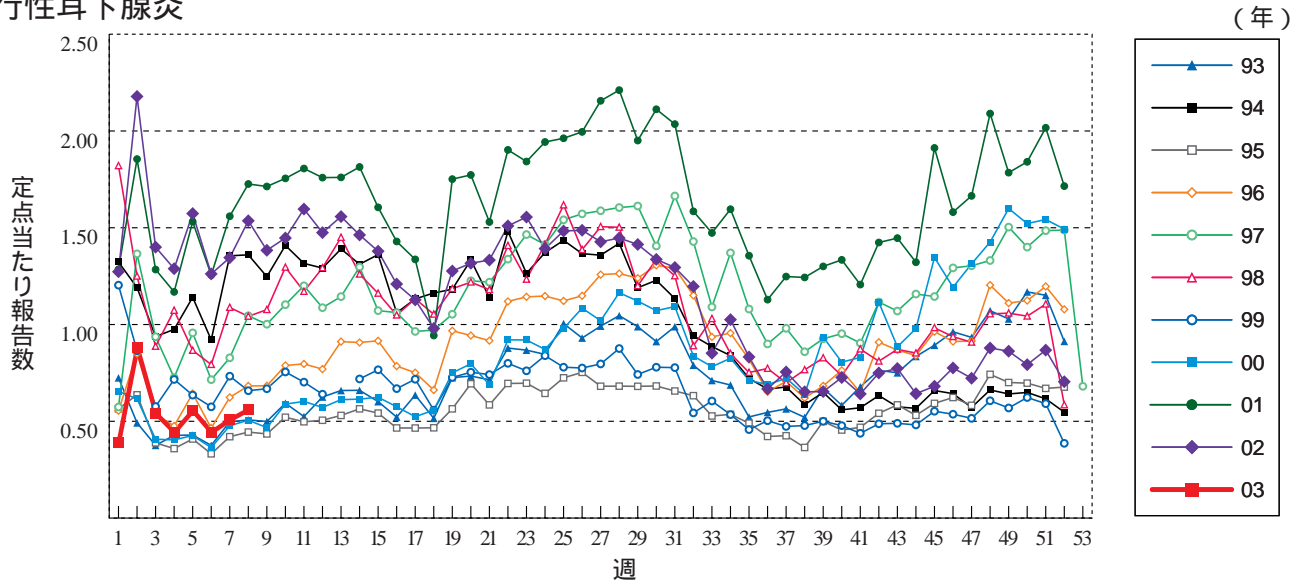
ヘルパンギーナ



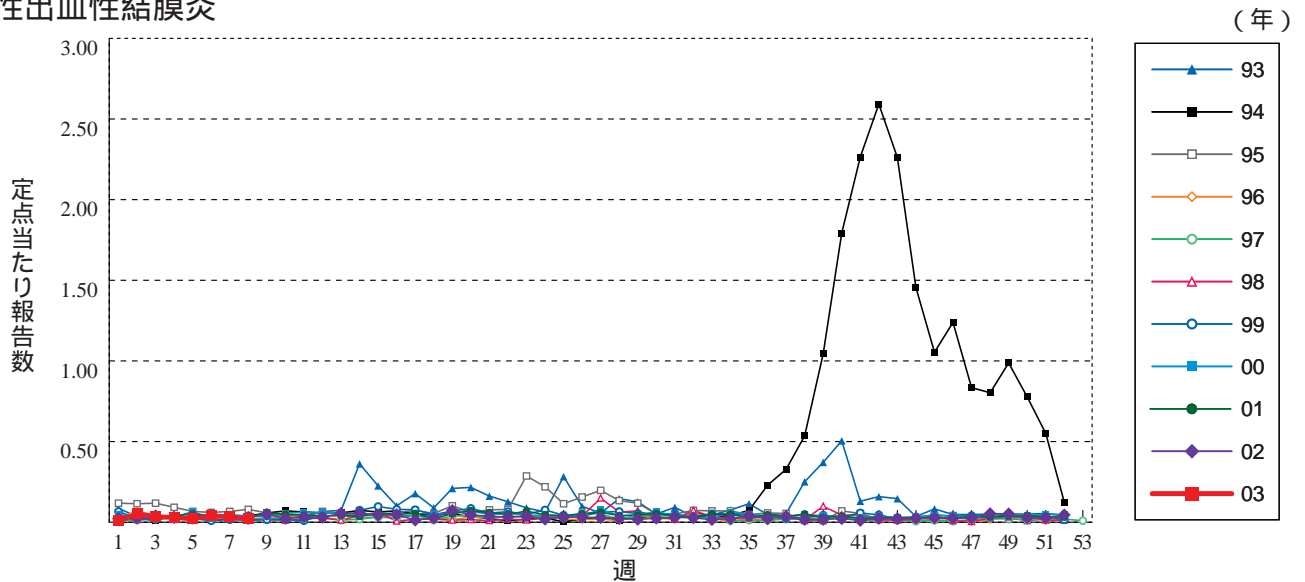
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



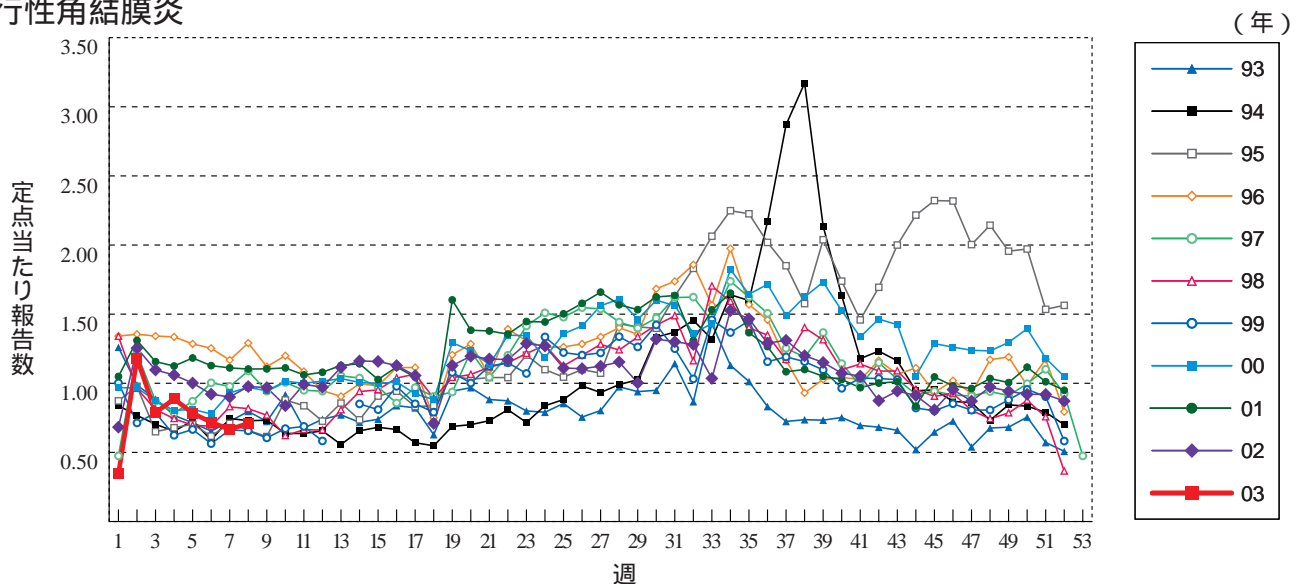
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

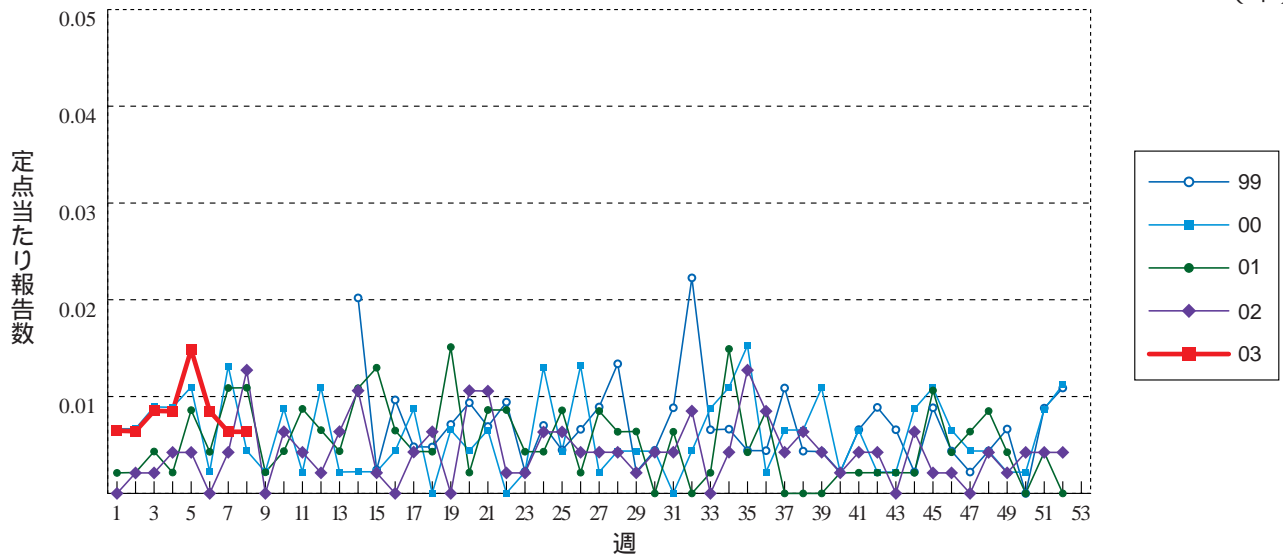


流行性角結膜炎



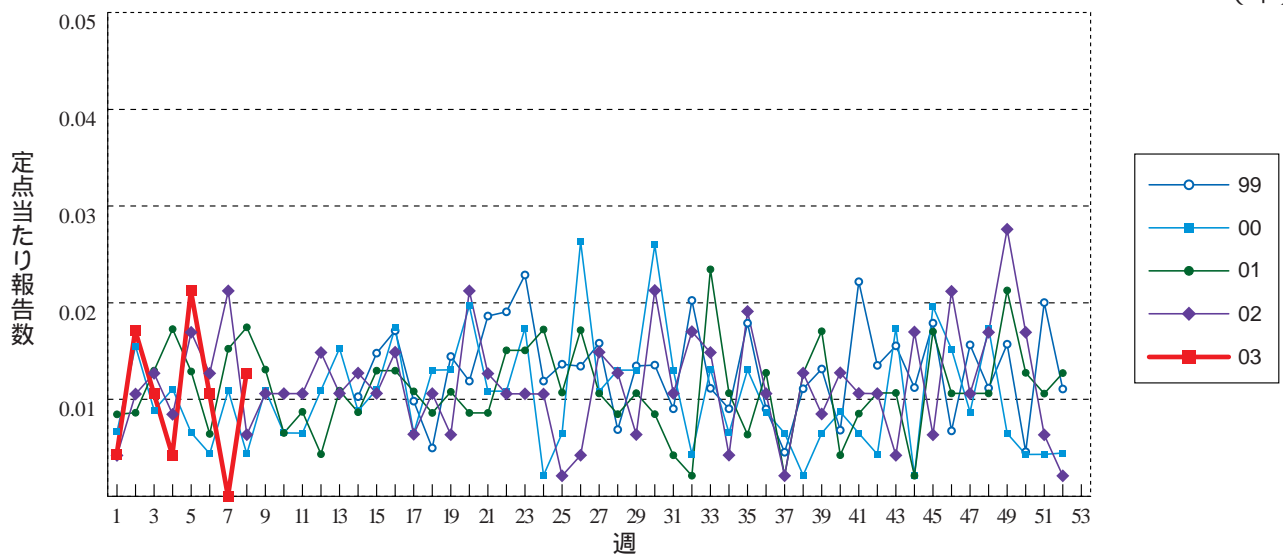
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



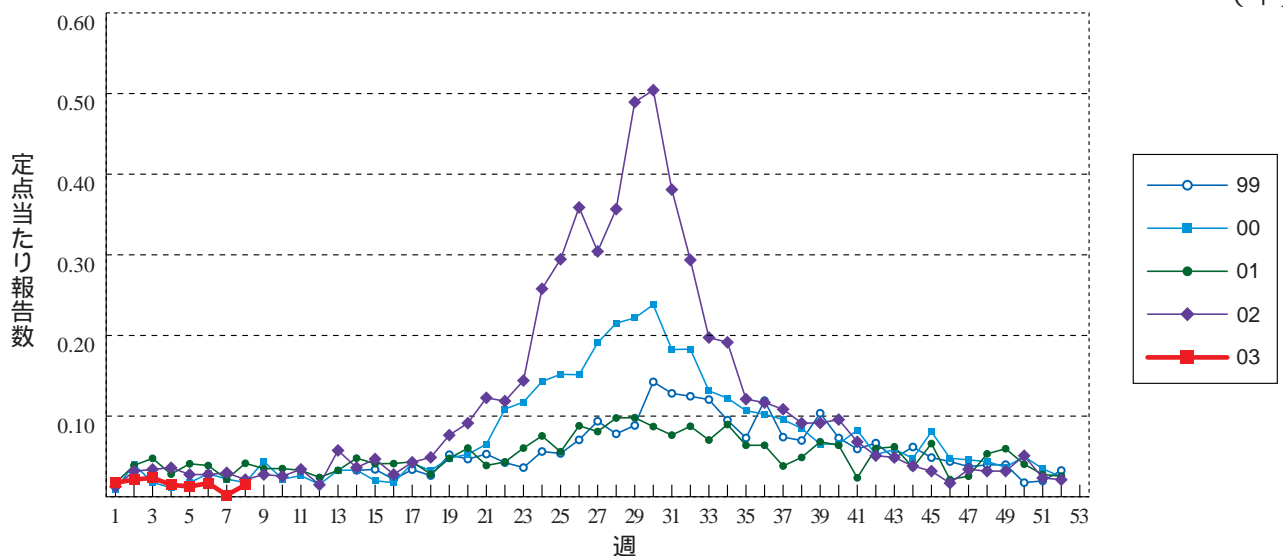
細菌性髄膜炎

(年)



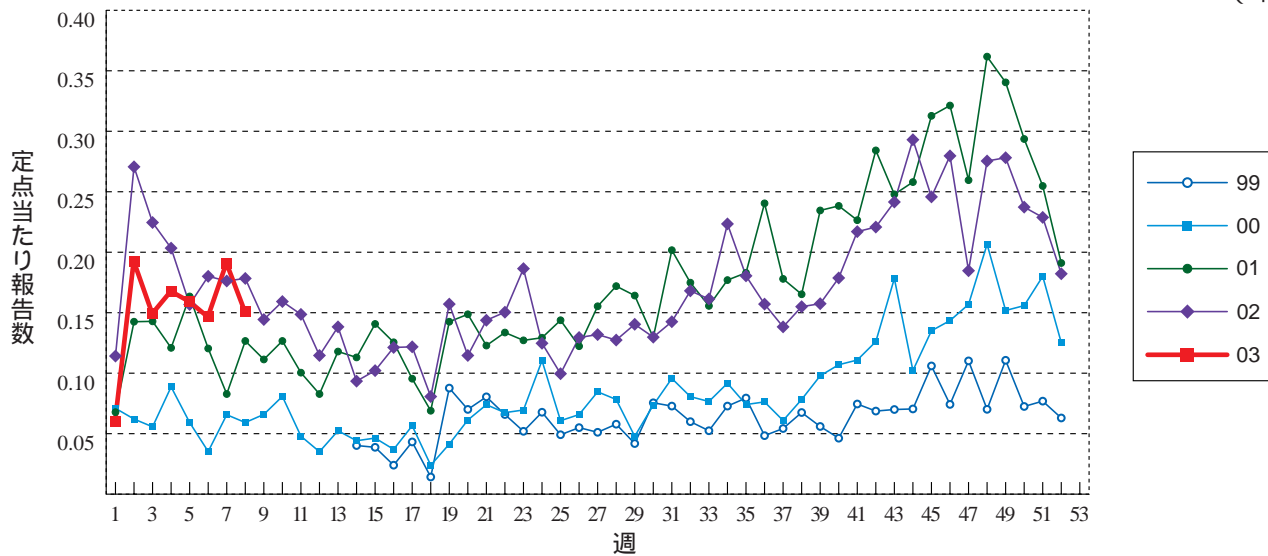
無菌性髄膜炎

(年)



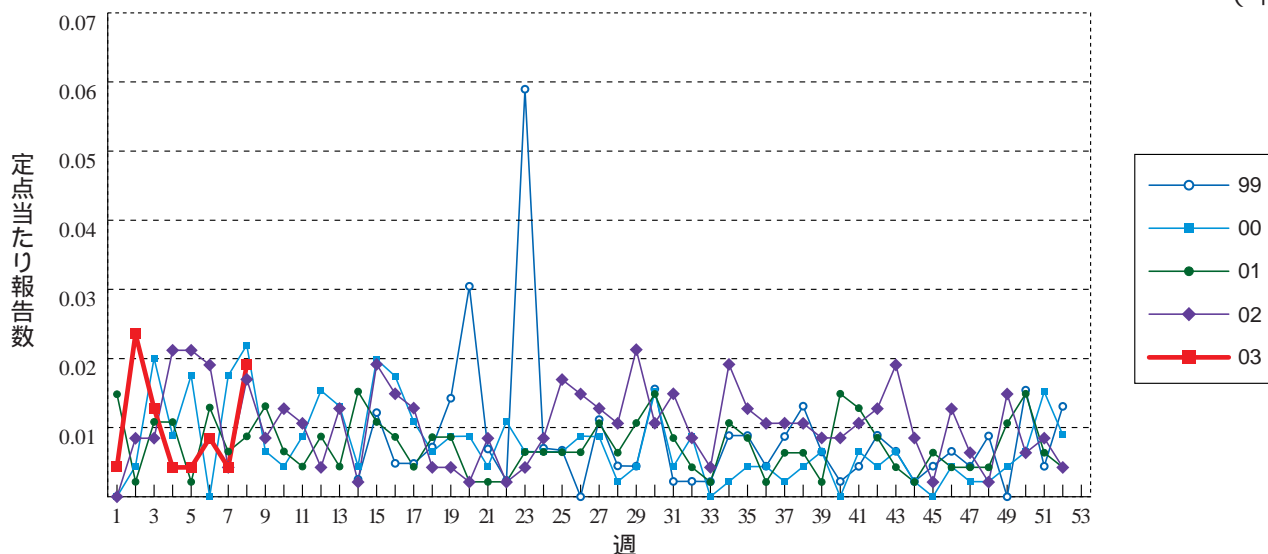
マイコプラズマ肺炎

(年)



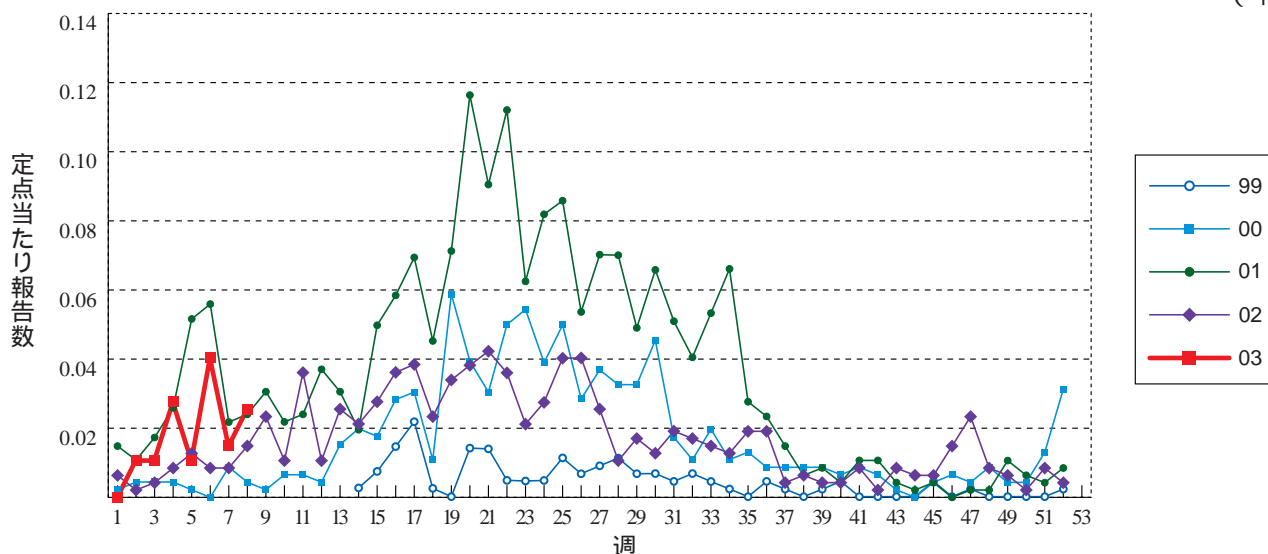
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 8週のデータ

注)表中の報告数は2月27日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	11	77	1	10	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	14	-	2	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	72	10	69	1	2	-	-	1	4	-	-	14	122
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	2	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
東京都	-	-	-	-	2	6	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	4	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	1	9
兵庫県	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
山口県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	-	1	20	-	15	13	111	-	-	2	8	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	39	-	-	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	1	2	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	3	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-	10	66
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	5	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	2	23
北海道	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年8週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年8週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	73541	15.56	235	0.08	3530	1.16	29201	9.57	5523	1.81	254	0.08	570	0.19	1939	0.64	27	0.01
北海道	3182	13.83	2	0.01	266	1.83	408	2.81	227	1.57	4	0.03	104	0.72	80	0.55	1	0.01
青森県	1076	16.55	1	0.02	40	0.95	194	4.62	89	2.12	1	0.02	4	0.10	23	0.55	-	-
岩手県	1785	28.79	1	0.03	31	0.82	205	5.39	35	0.92	-	-	27	0.71	17	0.45	-	-
宮城県	1957	21.51	3	0.05	88	1.49	772	13.08	93	1.58	5	0.08	8	0.14	51	0.86	-	-
秋田県	1632	29.67	12	0.34	32	0.91	228	6.51	37	1.06	1	0.03	6	0.17	16	0.46	-	-
山形県	1377	28.69	1	0.03	71	2.37	298	9.93	51	1.70	11	0.37	14	0.47	33	1.10	1	0.03
福島県	1878	23.48	1	0.02	55	1.15	422	8.79	38	0.79	5	0.10	11	0.23	32	0.67	-	-
茨城県	1511	12.81	3	0.04	39	0.53	360	4.86	95	1.28	-	-	11	0.15	21	0.28	-	-
栃木県	1479	21.13	4	0.09	35	0.76	341	7.41	56	1.22	3	0.07	1	0.02	34	0.74	-	-
群馬県	1290	12.90	1	0.02	61	0.98	463	7.47	101	1.63	13	0.21	18	0.29	31	0.50	-	-
埼玉県	3617	14.07	4	0.03	199	1.24	1788	11.18	224	1.40	13	0.08	14	0.09	109	0.68	-	-
千葉県	3587	17.33	14	0.11	254	1.94	1597	12.19	187	1.43	4	0.03	15	0.11	82	0.63	1	0.01
東京都	1796	10.09	10	0.07	65	0.46	1034	7.28	114	0.80	8	0.06	18	0.13	52	0.37	1	0.01
神奈川県	5426	16.15	11	0.05	191	0.92	1667	8.05	347	1.68	8	0.04	47	0.23	151	0.73	4	0.02
新潟県	1811	18.29	14	0.23	114	1.90	832	13.87	104	1.73	9	0.15	30	0.50	59	0.98	-	-
富山県	1093	22.77	-	-	129	4.45	374	12.90	58	2.00	9	0.31	10	0.34	16	0.55	-	-
石川県	615	12.81	19	0.66	86	2.97	364	12.55	44	1.52	-	-	2	0.07	16	0.55	-	-
福井県	639	19.97	8	0.36	87	3.95	257	11.68	28	1.27	9	0.41	7	0.32	13	0.59	-	-
山梨県	728	17.76	-	-	19	0.76	78	3.12	17	0.68	2	0.08	1	0.04	6	0.24	-	-
長野県	1884	21.66	-	-	108	1.96	336	6.11	117	2.13	1	0.02	21	0.38	35	0.64	-	-
岐阜県	571	6.80	-	-	30	0.57	249	4.70	75	1.42	4	0.08	9	0.17	24	0.45	-	-
静岡県	3240	23.65	2	0.02	59	0.69	682	7.93	212	2.47	5	0.06	16	0.19	65	0.76	2	0.02
愛知県	1472	7.71	13	0.07	196	1.08	1491	8.19	331	1.82	15	0.08	20	0.11	123	0.68	-	-
三重県	718	9.84	1	0.02	70	1.56	684	15.20	74	1.64	1	0.02	15	0.33	34	0.76	1	0.02
滋賀県	960	18.11	-	-	6	0.19	137	4.28	38	1.19	1	0.03	5	0.16	16	0.50	-	-
京都府	1914	15.19	2	0.03	55	0.72	531	6.99	65	0.86	11	0.14	3	0.04	27	0.36	-	-
大阪府	4020	13.22	16	0.08	148	0.76	1512	7.75	293	1.50	12	0.06	14	0.07	110	0.56	2	0.01
兵庫県	2712	13.70	10	0.08	85	0.66	1166	9.11	199	1.55	6	0.05	19	0.15	89	0.70	-	-
奈良県	1064	19.35	-	-	15	0.43	264	7.54	51	1.46	1	0.03	4	0.11	19	0.54	-	-
和歌山県	1288	25.76	-	-	12	0.39	257	8.29	50	1.61	-	-	-	-	17	0.55	-	-
鳥取県	429	14.79	1	0.05	53	2.79	187	9.84	47	2.47	-	-	6	0.32	15	0.79	2	0.11
島根県	408	10.74	-	-	11	0.48	152	6.61	28	1.22	1	0.04	2	0.09	12	0.52	-	-
岡山県	969	11.54	7	0.13	22	0.41	415	7.69	120	2.22	1	0.02	3	0.06	18	0.33	-	-
広島県	353	2.97	15	0.20	54	0.72	1161	15.48	137	1.83	7	0.09	9	0.12	53	0.71	4	0.05
山口県	1069	15.27	5	0.10	118	2.41	776	15.84	115	2.35	4	0.08	19	0.39	45	0.92	1	0.02
徳島県	855	22.50	1	0.04	31	1.35	205	8.91	51	2.22	-	-	-	-	11	0.48	1	0.04
香川県	1281	25.12	2	0.06	16	0.50	260	8.13	66	2.06	4	0.13	3	0.09	20	0.63	-	-
愛媛県	924	14.44	5	0.13	68	1.74	496	12.72	90	2.31	6	0.15	2	0.05	25	0.64	-	-
高知県	777	15.86	-	-	37	1.19	249	8.03	77	2.48	-	-	9	0.29	15	0.48	-	-
福岡県	2984	15.07	11	0.09	176	1.47	2154	17.95	396	3.30	13	0.11	7	0.06	94	0.78	2	0.02
佐賀県	596	15.28	6	0.26	38	1.65	393	17.09	87	3.78	5	0.22	2	0.09	41	1.78	-	-
長崎県	733	10.47	-	-	19	0.43	474	10.77	74	1.68	6	0.14	1	0.02	15	0.34	1	0.02
熊本県	1009	12.46	5	0.10	66	1.35	1049	21.41	125	2.55	5	0.10	3	0.06	50	1.02	2	0.04
大分県	1261	21.74	2	0.06	58	1.61	761	21.14	100	2.78	4	0.11	2	0.06	36	1.00	1	0.03
宮崎県	996	16.60	2	0.05	81	2.19	688	18.59	112	3.03	23	0.62	11	0.30	43	1.16	-	-
鹿児島県	1539	15.70	20	0.33	31	0.52	722	12.03	146	2.43	9	0.15	4	0.07	27	0.45	-	-
沖縄県	1036	17.86	-	-	5	0.15	68	2.00	302	8.88	4	0.12	13	0.38	18	0.53	-	-



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年8週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	37	0.01	82	0.03	219	0.07	1706	0.56	14	0.02	451	0.71	3	0.01	6	0.01	7	0.01
北海道	-	-	5	0.03	1	0.01	65	0.45	-	-	12	0.41	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	5	0.12	52	1.24	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	1	0.03	1	0.03	47	1.24	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	4	0.07	57	0.97	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	74	2.11	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	10	0.33	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	-	-	43	0.90	22	0.46	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	3	0.04	34	0.46	2	0.13	37	2.31	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	5	0.11	34	0.74	1	0.08	7	0.58	1	0.14	-	-	1	0.14
群馬県	2	0.03	-	-	1	0.02	70	1.13	-	-	26	1.86	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	4	0.03	39	0.24	44	0.28	-	-	13	0.36	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.02	3	0.02	28	0.21	53	0.40	-	-	23	0.68	-	-	1	0.08	-	-
東京都	-	-	2	0.01	6	0.04	23	0.16	-	-	22	1.57	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	1	0.00	6	0.03	55	0.27	-	-	28	0.67	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	53	0.88	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	2	0.07	-	-	8	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	7	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	9	0.36	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	3	0.05	19	0.35	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	46	0.87	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	1	0.01	2	0.02	42	0.49	-	-	6	0.30	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	3	0.02	1	0.01	88	0.48	-	-	13	0.37	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	-	-	13	0.29	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	12	0.38	-	-	-	-	-	-	1	0.14	-	-
京都府	1	0.01	-	-	6	0.08	38	0.50	-	-	13	0.72	-	-	-	-	3	0.60
大阪府	2	0.01	11	0.06	5	0.03	55	0.28	-	-	21	0.43	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	2	0.02	1	0.01	151	1.18	-	-	24	0.69	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	30	0.86	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.06	-	-	-	-	13	0.42	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	28	1.47	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	14	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	12	0.22	-	-	-	-	37	0.69	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	4	0.05	-	-	37	0.49	-	-	22	1.10	-	-	1	0.05	-	-
山口県	-	-	4	0.08	-	-	36	0.73	2	0.22	8	0.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	6	0.26	7	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	3	0.09	5	0.16	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	5	0.13	13	0.33	-	-	19	2.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	5	0.16	1	0.03	45	1.45	1	0.33	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.01	4	0.03	10	0.08	88	0.73	-	-	43	1.65	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	43	0.98	5	0.63	11	1.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	7	0.14	1	0.02	10	0.20	-	-	15	1.67	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	4	0.11	-	-	27	0.75	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	4	0.11	29	0.78	32	0.86	-	-	9	2.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	0.02	4	0.07	43	0.72	1	0.17	10	1.67	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	-	-	16	0.47	-	-	2	0.20	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年8週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	71	0.15	9	0.02	12	0.03
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	1	0.08	1	0.08
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	4	0.40	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	1	0.08	4	0.31	1	0.08
東京都	3	0.12	-	-	5	0.20
神奈川県	-	-	-	-	3	0.25
新潟県	5	0.42	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	1	0.10	-	-
長野県	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.20	-	-	-	-
愛知県	3	0.25	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.67	-	-	1	0.17
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	14	1.27	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	1	0.14	-	-

感染症週報 第5巻、第8号 平成15年3月7日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。